

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	4 章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち（生涯学習・生涯スポーツ社会の構築）			
	施策（大柱）	2 節 学校教育	H20 実施計画事業費合計	2,470,656 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 教育内容の充実	243,602 千円		
		2 教育環境の充実	1,005,859 千円		
		3 相談活動の充実	16,080 千円		
		4 幼児教育の振興	493,762 千円		
6 安全・安心な学校と地域づくりの推進		43,567 千円			
施策に関係する所属	学校教育課、教育センター、保健給食課、教育施設課				

1) 基本方針及び施策の目的

○情報化、国際化、環境問題など社会の変化に自ら適応し、心豊かでたくましく生きる子どもをはぐくむ。
 ○個性を重視し、豊かな人間関係を築くことができるように、教育内容や指導方法の工夫・改善、充実を図る。
 ○教育環境の充実や地域との連携により、安全・安心な特色ある学校づくりを進める。

2) 施策の具体的な内容及び実施方法

○教育内容及び教育環境の充実 確かな学力の定着につとめ、教職員の資質向上を図るとともに、豊かな心をはぐくむ教育などを充実し、特別支援教育を推進する。また、教育環境を確保し教育効果を高めるため、施設の整備と機器の充実を図る。さらに、特色ある学校づくりや異校種間連携の推進を進めるとともに、通学区域の適正化につとめる。 ○相談活動の充実 教育相談・生徒指導・進路指導の充実を図り、就学支援体制の充実につとめる。 ○幼児教育の振興 幼児教育推進体制を確立し、ふれあいや個性を大切にした教育を充実する。 ○健康な児童生徒の育成 学校保健及び学校給食を充実するとともに、体力の向上を図る。 ○安全・安心な学校と地域づくりの推進 学校と地域が連携した危機管理体制づくりを推進し、安全で安心な学校づくりを進める。

3) 分野別計画、指針

○学習指導の工夫改善計画 ○教員の自主研究計画

② 施策の概要

4) 関連・類似施策

5) 施策に対する市民ニーズ

『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。	要望者数	304 人	要望率	36.6 %	全施策中順位	6 位	分野中順位	1 位
		831			43		6	

6) 施策に係る基礎数値

項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
児童数		18,124	18,082	17,963
生徒数	人	7,934	7,886	7,886
小学校教職員数		812	869	931
中学校教職員数	人	418	448	475
小学校数		33	32	32
中学校数	校	15	15	15
教員補助員数	人	98	96	96
放課後支援事業実施校数	校	3	4	5

③ 優先的に取り組む事業

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
130101 確かな学力定着事業	学力調査の平均点	得点の総和/人数の総和（平均点）	点	80	78.1	97.6%	
130104 学習支援員配置事業	児童生徒一人当たりの学習支援員数	学習支援員採用人数/児童生徒数	人	0.01	0.0037	37.0%	
120111 教育用コンピュータ整備事業	コンピュータ活用状況	1校あたりの利用平均時間（コンピュータ使用授業時間数/小中学校数）	時間				
120206 校舎等大規模改修事業（耐震補強事業）	補強工事実施校数	実施校数	校	1	1	100.0%	36
130308 学校給食センター等施設・設備改修事業	衛生管理基準達成率	実績：改善箇所 目標：要改善箇所	ヶ所	14	11	78.6%	
130120 安全・安心な学校と地域づくり推進事業	児童生徒の非行問題・交通事故	発生件数	件	400	429	93.2%	

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標		
【5年後の目標】学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	「豊かな心を育む教育の充実」に取り組んだ成果を測る指標（児童/生徒）	%	年度	目標値	85.5	86.5	87.4	88.4	89.3	年度	
			17	実績値	82.5	82.9	83.4	83.8	84.3	22	
			実績値	84.6					実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
			達成率	82.0					89.3		
【5年後の目標】不登校児童・生徒の割合	「豊かな心を育む教育の充実」に取り組んだ成果を測る指標	%	年度	目標値	1.39	1.31	1.23	1.15	1.07	年度	
			17	実績値	1.52	1.34				2	目標値
			実績値	1.47					実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	2	1.07
			達成率	91.4%	97.8%				25		
学校耐震化率	小中学校47校の内、新耐震設計基準適用前の学校施設（校舎36校・体育館30校）において耐震化が完了した状況を示す指標	%	年度	目標値	16.7	19.4	27.8	36.1	58.3	年度	
			17	実績値	0	0	3.3	6.7	未定		25
			実績値	13.9					実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
			達成率	100.0%	100.0%				100.0		
			年度	目標値					年度		
			実績値						目標値		
			達成率								

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

・教員補助配置事業における教員補助員の職務内容を吟味し、学習支援員と特別支援教育支援員と名称を分けた。
 ・学びノートのより一層の活用を図るために「学びノート活用検討委員会」を開催し、活用リーフレットの発行や検討作業を行った。また、国語の学びノートの内容と運動させた「百人一首大会」と「親子童謡のど自慢大会」を実施した。

⑥ 評価（課題及び目標）

1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
学びノートの一層の活用を図ると共に、新学習指導要領の改訂に伴い、内容を見直し、改訂を行う必要がある。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
教員補助員を学習支援員と特別支援教育支援員と分けたことで、学習支援員は、教員と共に学習指導を中心に行い、児童生徒一人一人に応じた指導を行う必要がある。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
安全・安心な学校と地域づくり推進事業を一層推進するために、支部長が本部会に参加し情報の共有すると共に、様々な事件・事故の発生に対応するために、支部会メンバーの連絡網の整備が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

2) 平成20年度における目標設定

今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
新学習指導要領の改訂に伴い、学びノートの内容を見直し、改訂を行う。	国語、算数・国語の学びノートの部分改訂と英語学びノート(DVD版)中学校版の改訂	平成21年2月
推進支部会議が核となり、安全教育を具現化する。	学校で行う安全教育(危険予測能力・危険回避能力等)について情報発信をし、具体的な実践に結びつくように支部会議の活動として家庭・地域への啓発を図る。	平成21年3月

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

所沢市の子どもたちが、安全・安心な学校生活が送れるように、教育環境の整備を充実していく。新学習指導要領の完全実施（小学校：平成23年度、中学校：平成24年度）に向けて教育の充実を図っていく。さらに、幼稚園・保育園、小学校・中学校の連携を密にし、「縦」の接続と「横」の連携を図り、子どもたちの「生きる力」の育成を図っていく。

評価日 8月6日 記入者職氏名 学校教育部 次長 内野 正行

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	4 章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち（生涯学習・生涯スポーツ社会の構築）			
	施策（大柱）	2 節 学校教育	H20 実施計画事業費合計	2,470,656 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	5 健康な児童生徒の育成		667,786 千円	
				千円	
				千円	
			千円		
施策に関する所属	学校教育課、教育センター、保健給食課、教育施設課				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的			
	<p>○情報化、国際化、環境問題など社会の変化に自ら適応し、心豊かでたくましく生きる子どもをはぐくむ。</p> <p>○個性を重視し、豊かな人間関係を築くことができるように、教育内容や指導方法の工夫・改善、充実を図る。</p> <p>○教育環境の充実や地域との連携により、安全・安心な特色ある学校づくりを進める。</p>			
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法			
	<p>○教育内容及び教育環境の充実 確かな学力の定着につとめ、教職員の真実向上を図るとともに、豊かな心をはぐくむ教育などを充実し、特別支援教育を推進する。また、教育環境を確保し教育効果を高めるため、施設の整備と機器の充実を図る。さらに、特色ある学校づくりや異校種間連携の推進を進めるとともに、通学区域の適正化につとめる。 ○相談活動の充実 教育相談・生徒指導・進路指導の充実を図り、就学支援体制の充実につとめる。 ○幼児教育の振興 幼児教育推進体制を確立し、ふれあいや個性を大切にされた教育を充実する。 ○健康な児童生徒の育成 学校保健及び学校給食を充実するとともに、体力の向上を図る。 ○安全・安心な学校と地域づくりの推進 学校と地域が連携した危機管理体制づくりを推進し、安全で安心な学校と地域づくりを進める。</p>			
	3) 分野別計画、指針			
○学習指導の工夫改善計画 ○教員の自主研究計画				

③ 優先的に取り組む事業	4) 関連・類似施策				
	5) 施策に対する市民ニーズ				
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。				
		要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位
		304 人	36.6 %	6 位	1 位
6) 施策に係る基礎数値					
	項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	児童数		18,124	18,082	17,963
	生徒数	人	7,934	7,886	7,886
	小学校教職員数		812	869	931
	中学校教職員数	人	418	448	475
	小学校数		33	32	32
	中学校数	校	15	15	15
	教員補助員数	人	98	96	96
	放課後支援事業実施校数	校	3	4	5

④ 5年後の目標／成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
	【5年後の目標】学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	「豊かな心を育む教育の充実」に取り組んだ成果を測る指標（児童/生徒）	%	年度	目標値	85.5	86.5	87.4	88.4	89.3	年度
				17	実績値	82.5	82.9	83.4	83.8	84.3	22
	【5年後の目標】不登校児童・生徒の割合	「豊かな心を育む教育の充実」に取り組んだ成果を測る指標	%	年度	目標値	1.39	1.31	1.23	1.15	1.07	年度
				17	実績値	1.52	1.34				22
	施設改修達成率	老朽化した給食施設の改修率を測る指標	%	年度	目標値	13.0	14.0	16.0	16.0		年度
17				実績値	10.0	11.0	15.0			22	
達成率	達成率	%	6.0	76.9%	78.6%	93.8%			16.0		
			年度	目標値						年度	
			実績値						目標値		

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み										
老朽化した調理設備機器を更新するにあたり、高額な予算を伴うため、昨年に引き続きリース対応とした。										

⑥ 評価（課題及び目標方向性）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題				現在の進捗状況			
	小学校の自校化が増えるなか、単独調理場との格差が生じないよう給食センターでの献立の工夫が必要となってくる。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向		
	第2学校給食センターの廃場により、第1、第3学校給食センターの職員が増えるため、より一層の衛生管理を推進していく必要がある。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向		
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向		
		<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向		

2) 平成20年度における目標設定			達成水準(どこまで)			時期(いつまで)	
今期目標項目(何を)							
第2学校給食センターの廃場にあたり、第3学校給食センターのボイラー等の改修工事を行う。			完了			平成20年8月	
学校給食センター及び単独調理場に調理機器を導入し、衛生管理の徹底を図る。			完了			平成20年8月	

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）										
第2学校給食センターが、平成21年3月末をもって廃場するにあたり第1、第3学校給食センターの受入れ態勢整備のため、改修工事並びに調理機器の導入を平成20年度まで行ってきましたが、引き続き第1、第3学校給食センター施設の充実を図るため、計画的な施設整備が必要である。										
評価日	8月4日		記入者職氏名	学校教育部保健給食担当 安田 政昭						

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	4 章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち（生涯学習・生涯スポーツ社会の構築）			
	施策（大柱）	2 節 学校教育	H20 実施計画事業費合計	2,470,656 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	2 教育環境の充実		1,005,859 千円	
				千円	
				千円	
				千円	
施策に関する所属	学校教育課、教育センター、保健給食課、教育施設課				

1) 基本方針及び施策の目的

○情報化、国際化、環境問題など社会の変化に自ら適応し、心豊かでたくましく生きる子どもをはぐくむ。
 ○個性を重視し、豊かな人間関係を築くことができるように、教育内容や指導方法の工夫・改善、充実を図る。
 ○教育環境の充実や地域との連携により、安全・安心な特色ある学校づくりを進める。

2) 施策の具体的な内容及び実施方法

○教育内容及び教育環境の充実 確かな学力の定着につとめ、教職員の資質向上を図るとともに、豊かな心をはぐくむ教育などを充実し、特別支援教育を推進する。また、教育環境を確保し教育効果を高めるため、施設の整備と機器の充実を図る。さらに、特色ある学校づくりや異校種間連携の推進を進めるとともに、通学区域の適正化につとめる。 ○相談活動の充実 教育相談・生徒指導・進路指導の充実を図り、就学支援体制の充実につとめる。 ○幼児教育の振興 幼児教育推進体制を確立し、ふれあいや個性を大切にされた教育を充実する。 ○健康な児童生徒の育成 学校保健及び学校給食を充実するとともに、体力の向上を図る。 ○安全・安心な学校と地域づくりの推進 学校と地域が連携した危機管理体制づくりを推進し、安全で安心な学校と地域づくりを進める。

3) 分野別計画、指針

○学習指導の工夫改善計画 ○教員の自主研究計画

② 施策の概要

4) 関連・類似施策

5) 施策に対する市民ニーズ

『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。	要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位
	304 人	36.6 %	6 位	1 位
	831		43	6

6) 施策に係る基礎数値

項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
児童数		18,124	18,082	17,963
生徒数	人	7,934	7,886	7,886
小学校教職員数		812	869	888
中学校教職員数	人	418	448	470
小学校数		33	32	32
中学校数	校	15	15	15
教員補助員数	人	98	96	96
放課後支援事業実施校数	校	3	4	5

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
130101 確かな学力定着事業	学力調査の平均点	得点の総和/人数の総和（平均点）	点	80	78.1	97.6%	
130104 学習支援員配置事業	児童生徒一人当たりの学習支援員数	学習支援員採用人数/児童生徒数	人	0.01	0.0037	37.0%	
120111 教育用コンピュータ整備事業	コンピュータ活用状況	1校あたりの利用平均時間（コンピュータ使用授業時間数/小中学校数）	時間				
120206 校舎等大規模改修事業（耐震補強事業）	補強工事実施校数	実施校数	校	1	1	100.0%	36
130308 学校給食センター等施設・設備改修事業	衛生管理基準達成率	実績：改善箇所 目標：要改善箇所	ヶ所	14	11	78.6%	
130120 安全・安心な学校と地域づくり推進事業	児童生徒の非行問題・交通事故	発件数	件	400	429	93.2%	

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標		
【5年後の目標】学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	「豊かな心を育む教育の充実」に取り組んだ成果を測る指標（児童/生徒）	%	年度	目標値	85.5	86.5	87.4	88.4	89.3	年度	
			17	実績値	82.5	82.9	83.4	83.8	84.3	22	
			実績値	84.6					実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
			達成率						89.3		
			達成率						84.3		
【5年後の目標】不登校児童・生徒の割合	「豊かな心を育む教育の充実」に取り組んだ成果を測る指標	%	年度	目標値	1.39	1.31	1.23	1.15	1.07	年度	
			17	実績値	1.52					2	目標値
			実績値	1.47						2	1.07
			達成率	91.4%							
学校耐震化率	小中学校47校の内、新耐震設計基準適用前の学校施設（校舎36校・体育館30校）において耐震化が完了した状況を示す指標	%	年度	目標値	16.7	19.4	27.8	36.1	58.3	年度	
			17	実績値	0	0	3.3	6.7	未定	1	25
			実績値	16.7	19.4				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
			達成率	100.0%	100.0%				100.0		
防犯カメラ設置率	小学校32校において防犯カメラを設置した状況を示す指標	%	年度	目標値	18.8	25.0	31.3	37.5	43.8	年度	
			17	実績値	18.8	25.0				1	31
			実績値	12.5					実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2	1	目標値
			達成率	100.0%	100.0%				100.0		

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

耐震診断調査業務委託の契約締結を、業務の年度内の履行完了をより確実にするため、平成18年度は7月であったものを2ヶ月前倒して5月に行った。

1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
耐震化は全国の自治体が一斉に取り組んでいる事業であることから、耐震診断調査業務及び耐震補強設計業務に従事する建築構造技術者に不足が生じ、委託料の上昇、入札の不調に繋がる傾向がある。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input checked="" type="checkbox"/> 悪化傾向
耐震診断調査業務及び耐震補強設計業務が適正に行われたか否かを判定（評定）する第三者機関である「耐震判定（評定）委員会」等に案件が集中することにより、判定業務が遅延する傾向がある。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input checked="" type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向

⑥ 評価（課題及び目標）

2) 平成20年度における目標設定

今期目標項目（何を）	達成水準（どこまで）	時期（いつまで）
耐震診断、補強設計及び補強工事の実施	耐震診断11校、補強設計3校、補強工事3校	平成21年3月
防犯カメラの設置	小学校2校	平成21年3月

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

学校施設は、多くの子どもたちが学習し一日の大半を過ごす生活の場であると共に、災害時には地域の緊急避難場所としての役割を果たすことから、その安全・安心を確保することは非常に重要なことであり、早期に耐震化を実施する必要があります。本市では、平成19年7月に「所沢市学校施設耐震化推進計画」を策定し、平成27年度までに、全ての学校施設の耐震化を完了することを目標として、耐震化を進めてきました。こうした中、平成20年5月に中国四川省で大地震が発生し、学校施設を含めた建物の崩壊など大きな被害を受けた様子が報道され、更に国内でも6月に岩手・宮城内陸地震が発生し、学校施設のより早い耐震化が強く求められるようになりました。また、国は6月11日に地震防災対策特別措置法を改正して、一部の補助率を引き上げる支援策を講じることとしました。このようなことを受け、本市では、平成20年7月に、従来の耐震化推進計画のうち年度別スケジュールを前倒しする方向で見直しを行い、計画の完了年度を2年繰り上げ、平成25年度までに全ての学校施設の耐震化を完了することを新たな目標としました。したがって、今後はこのスケジュールに沿って耐震化を推進してまいります。

評価日 7月31日 記入者職氏名 教育総務部教育施設担当 田中 文雄